

# いぬなし青葉

令和4年6月16日

第6号

校長 山下英樹

「光陰 矢の如し」【こういん やのごとし:「光」は日、「陰」は月をさし、「光陰」は月日や時間を表します。】  
というように、月日が経つのは本当に早いですね。もう6月も後半です。令和4年も半分が過ぎようとしています。1学期も残すところ1か月です。来週には期末テストがあり、7月に入ると運動部のみなさんにとっては一番大きな目標である夏の中体連の大会が始まります。1日1日を大切に、丁寧に過ごしていきましょう。

## ● 1年生の自然教室 素敵な笑顔がたくさん見られました

昨年度は日帰り、一昨年度は中止となった自然教室ですが、今年度は3年ぶりに1泊2日の日程で実施することができました。とはいうものの、感染症対策を講じての活動ですので、いろいろな制限がありました。例えば野外炊飯は、レトルトのカレーと1人分ずつに小分けされた袋に入った米をお湯で温め、カレーライスを作るというものでした。うまくスムーズにいった班もあれば、薪が足りなくなって近くの植え込みから落ち葉や木の枝を拾ってきて、火力を補っていた班もありました。野菜を切ることもなく、飯ごうを使うこともない野外炊飯でしたので、物足りない気もしますが、薪の火を使って調理をする経験が少ないみなさんにとっては、本当に貴重な体験となりました。どの班もおいしいカレーが出来上がり(笑)、みなさんの素敵な笑顔がたくさん見ることができました。

自然教室中に感心したことがいくつかあります。1つは「あいさつ」です。学校にいるときは、3年生のあいさつが目立っていて気がつきませんでした。1年生の多くの方々がとても気持ちの良いあいさつや会釈ができていました。また、「おねがいします」や「ありがとうございました」等、人と人をつなげる言葉が、自然に出てくる人もたくさんいました。集団の中で生活していく上でとても大切なことですので、これからも大事にしていってください。

他にも、「時間に対する意識」も後半になるにつれ、とても高まっていきました。移動等の遅れにより、2日目午後の関宿散策の時間は大変短くなってしまいましたが、どの班も時間内にバスに戻ってくることができました。班でみんなが声をかけあった成果です。さらに、集合の時の切り替えも後半になるにつれ、どんどんレベルが上がっていきました。ただ単に静かにするだけでなく、先生や代表の人の話を聞こうという気持ちが姿勢にも表れていきました。こういった成長が見られたのも1泊2日で実施できたおかげと考えられます。



### 【自然教室新聞より】

- お風呂では全然時間がありませんでした。だから、みんなハチャメチャしてて、おもしろかったです。
- 思い通りにいかないこともあったけど、みんなで楽しめたし、おもしろく過ごすことができました。
- 火をつけるときとか、みんなが協力していて、とてもいいなあと思いました。自然教室での経験を生かして、これからも頑張ります。
- 解団式の時、先生方が言ってくれたように、2日間ですごく成長できたと思います。それにクラスの子と仲良くできたし、楽しめたので、すごく良い経験だったと思います。この経験を、普段にも生かし、より良い学校生活を送っていきたいです。

## ● 修学旅行 学年集団の質の高さ、温かさを強く感じた3日間でした

6月中旬の実施ということで、雨の心配をしていましたが、3日目の白川郷・高山市内で少し降られただけで、天気にも恵まれました。また、感染症や熱中症の心配もしましたが、3日間で大きく体調を崩す生徒もいませんでした。まずは無事に実施できてホッとするとともに、日常的に感染症対策および体調管理をきちんと行って頂いた保護者ならびに生徒のみなさんに感謝します。



修学旅行中は、みなさんの動きに感心することがとても多かったです。「時間を意識し、遅れないようにする姿」「班員を気遣って、みんなで楽しもうとする姿」「実行委員の話が始まろうとするとサッと静かになる姿」「朝の集い・夜の集いで一体感」「旅館の方、ガイドさんなど、関わってくださった方に感謝の言葉が自然に出てくる姿」……。出発式で実行委員長が話していた「**個人が楽しむのではなく、班や集団で楽しむことを大切にしよう**」が至る所で見受けられました。実行委員の呼びかけに対し、全員が協力し、改善していこう、より良くしていこうとする学年集団の質の高さ、温かさを感じた3日間でした。これからの学校生活の中でも、そのような姿が見られることを楽しみにしています。

## ● マスクの着用について ■■熱中症対策を優先しましょう■■

【厚生労働省のHPより】マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。**ただし、夏場は熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。**



**熱中症対策を優先し、次のような場合等はマスクを外しましょう。**

- 登下校中はマスクを外しましょう。**【屋外で他者との距離が確保できるため。他者との距離が確保できない場合は、**会話を控えて、マスクを外しましょう**】
- 体育や運動部活動の時もマスクを外しましょう。**【内容や場所によってはマスクを着用します】

## ■■ 保護者の皆様へ ■■ お子さんがSNSの被害者にも加害者にもならないために

令和3年度の1年間で、四日市市の中学生在関わったネットトラブルの件数は62件となっています。これは各中学校が把握・指導し、教育委員会に報告した数であって、実際に起こったトラブルの件数は、これをはるかに超えることが容易に想像できます。本校でも4月以降、何件かのトラブルを把握し、指導してきました。

これからの世の中、子どもたちがSNSと全く関わりのない生活を送ることはまずあり得ないことでしょう。スマホやタブレット端末を活用し、学習や仕事をし、世の中のことを知り、コミュニケーションをとっていく時代です。そのためにも、正しい使い方を学んでいく必要があります。学校でも、資料を使ったり、講師を招いたり、また、事例をもとにし、正しい使い方を指導し、相手にどのように伝わるかを考えさせ、万が一トラブルに巻き込まれた際の対処法などを指導しています。

ただ、スマホ等を使う機会は、学校外です。子ども自身のセルフコントロールと、保護者のペアレンタルコントロールが大切です。あと1か月程で夏休みです。スマホ等を扱える時間が飛躍的に増えます。夏休みを前に、家庭でのルールの確認やネット上でのマナー等について、お子さんと話をしてください。大切なお子さんが、被害者にも加害者にもならないために、ぜひ、お願いします。

右のQRコードは総務省の「インターネットトラブル事例集 2022年版」です。実際にあった様々な事例が、とても分かりやすく紹介されています。ぜひご覧ください。【キーワードをいくつか紹介】

- 「自分や身近な人には起こらない」という発想や思い込みはとても危険！
- グループトークでの友人とのトラブル 「？」がないだけで、思わぬ誤解へ…
- オンラインゲームをめぐる様々なトラブル 「遊ぶ人が増えればトラブルも多くなる」
- 不適切な発言や投稿は炎上の火種、不用意なやり取りはトラブルのもと

